



No. 4 5

平成30年11月21日

発行 多治見市教育研究所

URL :

<http://school.city.tajimi.lg.jp/kyoiku/>

本誌は、多治見市教育研究所ホームページ上でもご覧いただけます。



## 大事にしてきたこと

多治見市立小泉中学校 校長 松澤 朗

### 命と時間

私の兄は、30年以上前に自ら命を絶っています。ここでこんなことを書いても良いのか悩みましたが、いつも子ども達や先生に言い続けてきたことなので、書かせてもらいます。

私が27歳の時のことです。ある土曜日に部活を終えてから、実家に行って兄と会う約束になっていました。しかし、実家に行っても兄はいません。どこに行ったのかと思っていたら、警察からの電話がありました。すでに兄は息を引き取っており、それから後の時間は混乱していて、何が起きているのかも分からない状況でした。通夜や葬儀が済んでも、何も落ち着くことはありませんでした。いつでもまだ兄がいるような気がして、名前を呼んだり、探したりしていました。ふと気づくと兄はもうこの世にいないと判断しました。

自分の家族も混乱していて、これからどうしていくのかを悩んでいたことも思い出しています。(わかりにくい部分もありますが、ここまででお許しください。)

そんなことがあって、どの学校に行っても何があっても「命と時間が一番大切」と口にするようになりました。

「命と時間は取り戻せません！だから大切にしましょう。」と今は始業式や終業式では必ず言います。何回も何回もです。取り戻せないものは大切にできるしかありません。自分の経験で伝えていくことのできる最も大切なことの一つだと考えています。これからも言い続けていきます。



### 水泳と自分

自分は陶都中学校卒業生です。陶都中学校に入るとひよんなことから水泳部に入部しました。(書くと長くなるのでひよんなことで止めます。)始めは、強烈な先輩やコーチに毎日叱られ、部活に行くことが好きではありませんでした。本当に厳しく指導されました。

しかし、数ヶ月もして試合に出てみると速くなっている自分がありました。そうすると、うれしくて、うれしくて……。それからは、部活をしに学校へ行っているようなものでした。朝も泳ぎ、放課後も暗くなるまで練習しました。練習後は、深呼吸すると肺が詰まった感じがして、咳が出るほど、泳ぎました。とにかく、毎日泳ぎました。

冬は温水プールもない時代でしたので、陸上トレーニングです。腹筋・背筋などの筋トレです。また、陶都には裏山に大山・小山といって走るコースがあったので、石ころの道を走ったり、久々利の池まで走ったりもしました。

県下でも、強い水泳部でしたので、県で優勝するために練習をしていました。よくあんなに頑張れたなあって感心してしまいます。(ちょうどメキシコオリンピックで田口信孝選手が優勝した頃なので、それも意欲をかき立てました。)

また、教員になっても水泳に携われて幸せでした。先生になったからこそ、部活の顧問ができました。自分が顧問になると、自分も何が何でも勝ちたかったので、厳しい指導をしました。審判の資格を取ったり、講習会に参加したりもしました。一生懸命であったことは、良い思い出です。今も思えば、先生だからできたことです。

最近では試合で知人に会うと「いつまでやっとなるっ！」と言われてしまいますが、もう少しだけやってみようと考えています。今までの恩返しをしたいと思います。

## 平成30年度 夏休み得意セミナー ・ 教師塾セミナー

### ● 夏休み子ども得意セミナー

夏休み子ども得意セミナーの中には、親(保護者)もいっしょに体験できる講座がいくつもあります。「まが玉づくり」「野焼き教室」「書道」「楽しい科学」「ポスターをかこう!」「パソコンでオリジナルカレンダーを作ろう!」「読み聞かせ」などです。

この中で「パソコンでオリジナルカレンダーを作ろう!」は、受講希望者の多い講座です。抽選に当たった22組の親子が、家族の思い出の写真や自分の好きなスポーツ選手の写真などを持参しました。最初に講師の陶都中学校丹羽先生から簡単な説明を聞きました。その後、子どもたちは親さんといっしょに考え合いながら、カレンダー作りを楽しみました。どの親子もひとつしかないカレンダーを完成させ笑顔いっぱいでした。



パソコンでオリジナルカレンダー作りの様子

参加した親子の感想の一部を紹介します。

きょうりゅうのカレンダーがつくれてうれしかったです。ありがとうございました。(小1)

3枚目の作成になると、少しずつ自分で操作してできるようになってきました。楽しい時間を本当にありがとうございました。

(母親)

親子がともに活動し、考え合ったり、協力したりすることは、親育ちの視点からも意味あることと考えます。今後も夏休み得意セミナーで「親子で体験、〇〇教室」は継続していきます。

### ● 教師塾セミナー

今年度から新しい研修として、「保育園と小学校教育の円滑な接続のために」という講座を取り入れました。これは、日常の保育園児の遊びや学び、保育士の皆さんの支援・指導の様子を見る機会を設け、円滑な接続の一助としたいという思いからです。当日は小学校から12名の先生方が5つの保育園に出向き、朝から給食の時間まで保育園での体験をされました。



保育園での様子

参加された先生の感想の一部を紹介します。

小学校1年生を担当していて、保育園の様子を知りたいと思っていたので、ありがたい講座でした。学校以上に園の先生方が、一人一人の子どもとしっかり向き合っているのを見て、1年生の児童は入学当初、不安なんだろうと感じました。小1プロブレムもあるので、教師との関係、1日の生活、授業について保育園からつながるようにしていく必要があると分かりました。

卒園した今の1年生の子どもたちについて、担任の先生と話せたこともとても有意義でした。

参観させていただいた各保育園長先生からも好評で、次年度もぜひ継続してほしいという声が多くありました。

\*最後に、今年度の夏休み得意セミナーの申込み数は965名、教師塾セミナーは325名でした。

# 土曜学習「わがまち 多治見 大好き講座」

## 現代工芸に学ぶ

7月14日のわがまち多治見大好き講座は「現代工芸に学ぶ」と題し、現代陶芸美術館で工芸作品の鑑賞やバックヤード見学、セラミックパーク MINO で転写シートを使った磁器への絵付け体験をし、多治見の主要産業である陶磁器についての関心と理解を深め、ふるさと多治見への誇りを高めました。

- ①現代陶芸美術館の学芸員さんに案内をしていただき、工芸作品を鑑賞しました。



象牙で作った本物そっくりのキュウリを鑑賞

- ②現代陶芸美術館の課長補佐さんに案内をしていただき、美術館のバックヤードを見学させていただき、美術品の搬入の流れや、仕事の内容について学びました。



美術品を収蔵する部屋の説明

- ③転写シートを使ってマグカップに絵付けをしました。色のついた転写シートを思い思いの形に切り取り、マグカップに貼り付けて模様や文字を作りました。



転写シートでマグカップに絵付け

## 美濃焼名人になろう2018Ⅱ

9月15日は「美濃焼名人になろう2018Ⅱ」と題して、須恵器や桃志野、織部、黄瀬戸などの桃山陶に触れたり、美濃を代表する陶芸作家の作品を見たりして美濃焼についての知識を深めました。また、ろくろを使った作陶や美濃焼の器でお茶を飲んだりする体験を通して、美濃焼文化のよさを味わいました。

- ①美濃焼ミュージアム所蔵の貴重な器でお茶をいただきました。



茶道体験

- ②美濃焼ミュージアムの所蔵品を見学し、美濃焼について学びました。



陶片にふれて学ぶ

- ③意匠研究所の先生に教えていただき、電動ろくろを使って作陶しました。



作陶体験

- ④意匠研究所の施設を見学し、釉薬や焼成温度についてお話しを伺いました。



釉薬の説明

# 多治見市音楽祭

## 小学校音楽祭

10月25日(木)にバロー文化ホールにて多治見市小学校音楽祭が行われました。

「多治見市の小学校の音楽教育の向上を目指し、音楽学習の成果を交流する。」こと及び「演奏、鑑賞を通して、音楽的感動を味わわせる。」ことを目的として、午前の部と午後の部に分けて全ての小学校が合唱や合奏を披露しました。



### 【午前の部】

- 1 昭和小学校6年生  
「ぶんぶんぶん」「ドラムマーチ」「大きな古時計」
- 2 市之倉小学校4年生  
「いつだって」「クラッピングファンタジー 宝島」
- 3 池田小学校4年生  
「いつだって」「豊年太鼓」
- 4 共栄小学校4年生  
「茶色の小びん」「友達シンドバッド」
- 5 全員合唱「つばさをください」
- 6 精華小学校4年生  
「子どもの世界」「歌のにじ」  
「ヤングマン(Y・M・C・A)」
- 7 笠原小学校5・6年生  
「リボンのおどり」「世界がひとつになるまで」
- 8 小泉小学校6年生  
「ALWAYS 三丁目の夕日」「地球星歌」

### 【午後の部】

- 1 南姫小学校4年生  
「オーラリー」「いつだって」
- 2 脇之島小学校4年生  
「いつだって」「聖者の行進」
- 3 根本小学校4年生  
「チキ チキ バンバン」  
「しあわせなら手をたたこう」「あさがお」
- 4 全員合唱「つばさをください」
- 5 養正小学校6年生  
「ダンシング・ヒーロー」「Wish～夢を信じて～」
- 6 北栄小学校6年生  
「ふるさとの四季 ふるさと～おぼろ月夜～紅葉～ふるさと」  
「コンドルは飛んで行く」
- 7 滝呂小学校6年生  
「ふるさと」「ラバーズ コンチェルト」「COSMOS」



## 中学校音楽祭

「多治見市の中学校の音楽教育の向上を目指し、学習の成果を交流する。」こと及び「演奏する喜び、鑑賞する喜びを通して、音楽的感動を味わう。」ことを願って、11月9日(金)にバロー文化ホールにて多治見市中学校音楽祭が行われました。

- 1 全体合唱 「夢の世界を」
- 2 小泉中学校 2年5組  
「時の旅人」「青葉の歌」
- 3 北陵中学校 2年5組  
「大切なもの」「地球星歌」
- 4 平和中学校 2年学年合唱  
「時の旅人」「君をのせて」
- 5 多治見中学校 2年学年合唱  
「大切なもの」「青葉の歌」
- 6 南姫中学校 2年学年合唱  
「時の旅人」「君とみた海」
- 7 笠原中学校 2年学年合唱  
「心の中にきらめいて」「走る川」
- 8 南ヶ丘中学校 2年学年合唱  
「時の旅人」「虹」
- 9 陶都中学校 2年6組・2年学年合唱  
「今日は君の Birthday」「時の旅人」



## 第24回 連合生徒会交流会

8月6日(月)と7日(火)に「将来の多治見市を担う中学生が、様々なテーマについて日頃考えていることを、各学校の実践や現状をもとに交流したり、講演を聴いたりすることを通して、今後の生徒会活動の充実を図るとともに、まちづくりへの意識を高める」ことをねらいとし、第24回連合生徒会交流会が行われました。

今回は、35名の生徒が参加し、以下の活動を行いました。

### ① ドリームマップ

一般財団法人ドリームマップ普及協会から2名の認定講師を迎えて、午前中にドリームマップについて講話をしていただき、午後はドリームマップを作成しました。最後に一人一人が自分の夢について発表しました。

ドリームマップの作成



ドリームマップの発表



～生徒の感想～

- 自分が夢を叶えることで、周りが笑顔になったり、社会が良くなったりすると分かり、「夢を叶えたい」という気持ちが強くなりました。
- 自分の夢を語り、みんなに知ってもらうことで、頑張ろうという気持ちになりました。将来がとても楽しみにになりました。
- 自分の夢を明確にすることができたので良かったし、すごく楽しく活動できたので良かったです。

### ② 地球村での宿泊

夕食では、炭をおこしたり、お肉を焼いたりすることで、他校の生徒と楽しく交流を深めることができました。

ちがう学校の生徒と夕食



○他校の生徒とBBQや泊まりを行う中で、知らなかった人を知りたいという思いが生まれ、自分の中でも大きく成長できたと思います。みんなで協力し、活動をやり遂げることができて良かったです。

○知らない人と交流することで、それぞれの学校の良さが分かり、楽しかったし、たくさんのお話を学びました。

### ③ 交流会

各学校が取組を発表し、意見交流をしました。また、第25回連合生徒会交流会のテーマを決めました。

各学校の発表



交流会



○各学校の活動内容を知ることによって、自分の学校の活動に取り入れられそうなものを見つける良い機会となりました。

○質疑応答のときの活発な交流など、活気があって楽しかったです。自分たちの活動について「もっとこうした方がいい」と思うことができたし、目標が設定できたので、それに向かって学校を高めていきます。

## 新規採用の先生の紹介(幼稚園)



### 「新たなスタートを迎えて」 昭和小学校附属幼稚園 加藤 美南

幼稚園教諭として働きはじめ、6か月が経ちました。初めは、夢であった保育者になれたことや、新しい生活がスタートすることへの期待と共に、不安もたくさんありました。しかし、一緒に働く先生方に助けて頂いたり、子どもたちの笑顔に元気をもらったりしながら、楽しく働いていくことができました。

私が今大切にしていることは、“子どもたちの思いを十分に聴くこと”です。楽しかったことや面白かったこと、悲しかったことなど、子どもたちの思い・気持ちに耳を傾け、受け止めたり共感したりしながら、子どもたちの心を育てていきたいと思っています。

まだまだ不慣れで分からないことばかりですが、子どもたちと一緒に様々なことに挑戦し、一緒に成長していきたいと思っています。



### 「これまでを振り返って」 多治見市立明和幼稚園 肥田 奈津穂

私が、新規採用職員として生活を送り始め7か月。改めて責任の重さを感じています。どのように保育を進めていこうか悩むことがたくさんあります。そんな時周りの先生方から声のかけ方や保育の進め方についてアドバイスをいただき、自分の視野や保育が広がり常に学ぶことができます。子どもたちが「幼稚園楽しい!」と毎日笑顔で登園する姿や、子どもの成長を感じる瞬間にやりがいを感じます。

これからも、子どもたちと同じ目線に立って遊び、先生方からたくさんの事を吸収し、保護者・職員間で連携を大切に自分自身成長していきたいと思っています。



### 「子ども達の笑顔とともに」 笠原小学校附属幼稚園 中垣 彩実

子ども達の元気で明るい笑顔を見るようになり、半年が経ちました。夢だった保育者として働くことができる嬉しさの反面、年少クラスの担任が私に努まるのか、不安な気持ちがいっぱいでした。しかし、実際に子ども達と接すると、元気に「せんせい!」と呼んでくれる可愛い笑顔が私の原動力に変わっていきました。

この半年間での子ども達の成長は大きく、できなかった事ができるようになっていく過程や、時々小さな成長を間近で見られることに喜びとやりがいを感じています。子ども達にとって初めての事は、保育者の私にとっても初めての事なので、まだ不安な気持ちや悩む気持ちが沢山あります。これからも、一つ一つの活動や行事を大切に、先輩の先生方からのご指導やアドバイスを頂きながら、子ども達と一緒に経験することを通して、自身の成長に繋げていきたいです。



### 「保育士から幼稚園教諭になって」 笠原小学校附属幼稚園 川瀬 麻里

幼稚園教諭となって早7か月が経ちました。初めて幼稚園への転勤ということで、保育園と幼稚園では仕組みも全然違うと思っていましたが、子どもたちの成長を間近で感じられるという基本的なことは同じでした。人見知りだった子が友達を誘って遊ぶ姿を見た時、苦手なものを友達の励ましで食べてみようとする姿を見た時、一生懸命取り組んでいた鉄棒ができるようになった時…そして何より

「先生大好き!」そう言って満面の笑みで駆け寄ってくる子どもたちを見ると「先生になってよかった」と実感します。これからも子どもたちの成長の瞬間をそばで見守り、共に喜び合える先生でありたいです。そして自分自身も子どもたちと共に成長していきたいと思っています。



### 「男性保育者として」 精華小学校附属愛児幼稚園 岩田 聖也

保育業界の男性は増えてきているとはいえ、まだまだ珍しい存在です。昨今、片親家庭の増加や父親の育児参加への意識が高まっているのを背景に、保育現場での男性の役割も高まっていると感じています。そんな中で、自分らしい保育とは? 男性保育者として何が出来るだろう? と自問しながら日々を送っています。思うようにいかず、失敗したり力不足を感じたりする事は沢山あります。しかし、まだまだ頼りない先生でも、子ども達は笑顔で名前を呼んでくれます。

そんな子ども達のために、周囲の先生に助けをいただきながらも力をつけて、いつでも楽しく頼りになる、園のお父さんのような存在になりたいと思っています。